2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ドレーピング	前期	28	35	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技80%・講義20%	なし

科目概要	寸法を元に行う平面製図ではなく、立体ボディーを使用し実際の布（シーチング）をあて、組み立て型紙を作り出す、立体裁断という技法。
習得項目	・布（シーチング）、ピンの扱いを学ぶ。 ・実際のボディーフォルムに合わせて、ダーツ、デザインラインを作り表現していく。 ・ボディーのフォルムに合わせて、ダーツをとり理解を深める。
評価方法	１課題評価　布目、ピンの打ち方、布の扱い、ラインの取り方等。 ２授業態度　出席率、集中度等。 ＊総合評価100ポイント。成績評価が60点未満の場合は補習対象。

授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	1	4月12日	ピンクッション	手縫い技法	
	2	4月19日	トートバック	ミシン扱い方	
	3	4月26日	基礎縫い	手縫い技術習得	
	4	5月10日	ドレーピングについて、地直し	基礎知識	
	5	5月17日	前原型１	ダーツの取り方 サイドダーツ	平面製図
	6	5月24日	後原型１	ダーツの取り方 ショルダーダーツ	平面製図
	7	5月31日	原型組み立て	ピンの打ち方 縫代の倒し方	平面製図
	8	6月7日	前原型２	ダーツの取り方 ショルダーダーツ	平面製図
	9	6月14日	後原型２	ダーツの取り方 ショルダーダーツ	平面製図
	10	6月21日	原型組み立て	ピンの打ち方 縫代の倒し方	平面製図
	11	6月28日	前原型３	ダーツの取り方 ウエストダーツ	平面製図
	12	7月5日	後原型３	ダーツの取り方 ウエストダーツ	平面製図
	13	7月12日	原型組み立て	ピンの打ち方 縫代の倒し方	平面製図
	14	7月19日	前期修了ショーリハーサル		

講師区分	常勤	講師名	中島　由紀子	関係実務経験	アパレル企業にてパタンナーとして勤務

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ドレーピング	後期Ⅰ	26	32.5	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技80%・講義20%	なし

科目概要	寸法を元に行う平面製図ではなく、立体ボディーを使用し実際の布（シーチング）をあて、組み立て型紙を作り出す、立体裁断という技法。
習得項目	・布（シーチング）、ピンの扱いを学ぶ。 ・実際のボディーフォルムに合わせて、ダーツ、デザインラインを作り表現していく。 ・ボディーのフォルムに合わせて、ダーツをとり理解を深める。
評価方法	１課題評価　布目、ピンの打ち方、布の扱い、ラインの取り方等。 ２授業態度　出席率、集中度等。 ＊総合評価100ポイント。成績評価が60点未満の場合は補習対象。

授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	1	9月6日	前セミタイトスカート	ボトムの基本 ウエストダーツ	平面製図
	2	9月13日	前セミタイトスカート	ボトムの基本 脇ラインの取り方	平面製図
	3	9月20日	後セミタイトスカート	ボトムの基本 ウェストダーツ	平面製図
	4	9月27日	後セミタイトスカート	ボトムの基本 脇ライン取り方	平面製図
	5	10月4日	組み立てセミタイトスカート	ピンの打ち方 ベルトの付け方	
	6	10月11日	前ヨーク・フレンチスリーブBL	前ヨークの 取り方	
	7	10月18日	前ヨーク・フレンチスリーブBL	前身頃 作り	
	8	10月25日	後ヨーク・フレンチスリーブBL	後ヨークの 取り方	
	9	11月1日	後ヨーク・フレンチスリーブBL	後身頃 作り	
	10	11月8日	ヨーク・フレンチスリーブBL	線入れカット	
	11	11月15日	ヨーク・フレンチスリーブBL	組み立て	
	12	11月22日	ヨーク・フレンチスリーブBL	組み立て	
	13	11月29日	ヨーク・フレンチスリーブBL	トレース	

講師区分	常勤	講師名	中島　由紀子	関係実務経験	アパレル企業にてパタンナーとして勤務

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ドレーピング	後期Ⅱ	22	27.5	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義100%	なし

科目概要	寸法を元に行う平面製図ではなく、立体ボディーを使用し実際の布（シーチング）をあて、組み立て型紙を作り出す、立体裁断という技法。
習得項目	・布（シーチング）、ピンの扱いを学ぶ。 ・実際のボディーフォルムに合わせて、ダーツ、デザインラインを作り表現していく。 ・ボディーのフォルムに合わせて、ダーツをとり理解を深める。
評価方法	１課題評価　布目、ピンの打ち方、布の扱い、ラインの取り方等。 ２授業態度　出席率、集中度等。 ＊総合評価100ポイント。成績評価が60点未満の場合は補習対象。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月6日	洋裁技術検定（初級）対策	理論 製図	
2	12月13日	洋裁技術検定（初級）対策	理論 製図	
3	12月20日	洋裁技術検定（初級）対策	理論 製図	
4	1月10日	洋裁技術検定（初級）対策	理論 製図	
5	1月17日	洋裁技術検定（初級）対策	理論 製図	
6	1月24日	修了ショー		
7	1月31日	修了ショー		
8	2月7日	FA週間		
9	2月14日	FA週間		
10	2月21日	FA週間		
11	2月28日	FA週間		

講師区分	常勤	講師名	中島　由紀子	関係実務経験	アパレル企業にてパタンナーとして勤務

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ベーシックドローイング	前期	28	35	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実習実技100%	なし

科目概要	デッサンを通して表現力、想像力の育成から 実務に則したスタイル画を基本とした描画表現力を身につけます。
習得項目	1.正確なデッサン力、描画テクニック 2.描画力（用具、表現素材、手法への理解と知識）
評価方法	1.課題評価（技術面、表現・思考面） 2.授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	4月10日	オリエンテーション		
1	4月17日	石膏デッサン 「デッサン用具準備」	立体造形の理解 （描画表現力）	
	4月24日	石膏デッサン 「構図・描き始め（デモンストレーション）」	〃	
	5月1日	石膏デッサン 「大きな形と修正」	〃	
	5月8日	石膏デッサン 「陰影の作り方」	〃	
	5月15日	石膏デッサン 「描き込み」	〃	
	5月22日	石膏デッサン 「仕上げ」講評会	〃	
2	5月29日	人物クロッキー会 「ドローイングテクニック・人物全身構図」	基礎描画力 （形の動き・描画力）	
	6月5日	スタイル画 「ドローイング・単色人物ヌード全身構図」	基礎描画力 （作画力・表現力）	
	6月12日	スタイル画 「マーカー着彩・着装」	〃	
	6月19日	スタイル画 「スタイル画模写①」	〃	
3	6月26日	スタイル画テーマ作品製作	描画力 （描画表現応用）	
	7月3日	スタイル画テーマ作品製作	〃	
	7月10日	スタイル画テーマ作品製作 「講評会」	〃	

講師区分	常勤	講師名	石川　和男	関係実務経験	国内外アパレルデザイン、プロダクトデザインに携わった経験をもち、実務の経験からスタイル画表現について指導する。

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ベーシックデザイン	後期Ⅰ	22	27.5	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実習実技100%	なし

科目概要	アイデア、インスピレーションの膨らませかた。 コンセプトやテーマの建て方とデザインとしての表現力と、合わせてプレゼンテーションについて学。
習得項目	1.造形表現力、プレゼンテーション力 2.造形バランス、表現素材、手法への知識と応用
評価方法	1.課題評価（技術面、表現・思考面） 2.授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
0	9月4日	修了ショーデザイングループワーク① 「テーマとは・カテゴリーとは」	意図創作	服飾技術実習
	9月11日	修了ショーデザイングループワーク② 「テーマとは・カテゴリーとは」	〃	〃
	9月25日	修了ショーデザイン① 「自分の好きなデザイン系統について、 文章とイラスト表現」	〃	〃
	10月2日	修了ショーデザイン② 「自分の好きなデザイン系統について、 文章とイラスト表現」	〃	〃
	10月16日	修了ショーデザイン③ 「自分の好きなスタイル系統について、 文章とイラスト表現」	〃	〃
	10月23日	修了ショーデザイン④ 「アイデア修正」	〃	〃
1	10月30日	造形デザイン演習① 「ペーパーアート（ヘッドドレス）」	造形表現力 （材料を活かした表現バランス）	
	11月8日	造形デザイン演習② 「ペーパーアート（ヘッドドレス）」	〃	
	11月13日	造形デザイン演習③ 「ペーパーアート（ヘッドドレス）」	〃	
	11月20日	造形デザイン演習④ 「ペーパーアート（ヘッドドレス）」	〃	
	11月27日	ポートフォーリオ① 「製作コンセプト、イメージ」	造形表現力 （意図・考察）	

講師区分	常勤	講師名	石川　和男	関係実務経験	国内外アパレルデザイン、プロダクトデザインに携わった経験をもち、実務の経験からスタイル画表現について指導する。

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ベーシックデザイン	後期Ⅱ	20	25	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実習実技100%	なし

科目概要	アイデア、インスピレーションの膨らませかた。 コンセプトやテーマの建て方とデザインとしての表現力と、合わせてプレゼンテーションについて学。
習得項目	1.造形表現力、プレゼンテーション力 2.造形バランス、表現素材、手法への知識と応用
評価方法	1.課題評価（技術面、表現・思考面） 2.授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月4日	ポートフォーリオ② 「製作コンセプト、イメージ」	造形表現力 （意図・考察）	
	12月11日	ポートフォーリオ② 「プレゼン・講評会」	造形表現力 （作品プレゼン力）	
2	12月18日	造形デザイン演習Ⅱ① 「1/2トルソーシーチングワーク」	造形表現力 （考察・リサーチ・試案）	
	12月25日	造形デザイン演習Ⅱ② 「1/2トルソーシーチングワーク」	造形表現力 （造形力・応用表現力）	
	1月15日	造形デザイン演習Ⅱ③ 「1/2トルソーシーチングワーク」	〃	
	1月22日	造形デザイン演習Ⅱ④ 「1/2トルソーシーチングワーク」	〃	
	1月29日	造形デザイン演習Ⅱ⑤ 「1/3トルソーシーチングワーク」	〃	
	2月5日	ポートフォーリオⅡ① 「製作コンセプト、イメージ」	造形表現力 （応用プレゼン力）	
	2月19日	ポートフォーリオⅡ② 「製作コンセプト、イメージ」	〃	
	2月26日	総評・課題講評会	〃	

講師区分	常勤	講師名	石川　和男	関係実務経験	国内外アパレルデザイン、プロダクトデザインに携わった経験をもち、実務の経験からスタイル画表現について指導する。

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
Mac演習Ⅰ	前期	28	35	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	演習50%・実技40%・講義10%	なし

科目概要	Macパソコンを使用したグラフィックソフト（Illustrator・Photoshop）
習得項目	デジタル基礎知識 Illustrator初～中級操作習得
評価方法	課題作成による知識と技術／期末テストによる基礎知識確認／授業態度／出欠状況をトータルして評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	4月10日	オリエンテーション		
1	4月17日	授業内容説明・デジタル基礎知識	授業概要の理解	
2	4月24日	ソフトウェアについて 基本操作説明	授業概要の理解	
3	5月1日	Illustrator （図形描画・文字・カラー設定）	アプリの理解	
4	5月8日	Illustrator （ペンツール・パスファインダー）	ペンツール操作練習	
	5月15日	↓		
5	5月22日	Illustrator （クリッピングマスク）	ペンツール機能の理解	
	5月29日	↓		
6	6月5日	Illustrator （ハンガーイラスト作成）	ペンツール機能の応用	トレンド分析･商品企画
	6月12日	↓		
7	6月19日	Illustrator （図形描画・パターン作成）	図形のアレンジ	
	6月26日	↓		
8	7月3日	期末テスト／Illustrator （画像のリンク/自己紹介シート作成）	前期おさらい 画像リンクの仕組み理解	
9	7月10日	Illustrator （画像のリンク/自己紹介シート作成）	画像リンクの仕組み理解	

講師区分	常勤	講師名	大島 佐和子	関係実務経験	デザイン事務所にてグラフィックデザイナー経験後、美術学校にて講師経験もあり

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
Mac演習Ⅰ	後期Ⅰ	22	27.5	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	演習50%・実技40%・講義10%	なし

科目概要	Macパソコンを使用したグラフィックソフト（Illustrator・Photoshop）
習得項目	Illustrator中級操作およびPhotoshop初級操作習得 各ソフトウェアの連動操作習得
評価方法	課題作成による知識と技術／期末テストによる基礎知識確認／授業態度／出欠状況をトータルして評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月4日	Photoshop （基本ツール説明・画像明度調整）	アプリの理解	
2	9月11日	Illustrator・Photoshop （雑誌のページ作成）	アプリの連動	
	9月25日	↓		
	10月2日	↓		
3	10月16日	Illustrator （企業ロゴトレース）	ペンツール操作練習 パスファインダー応用	
4	10月23日	Photoshop・ipad （手描きイラストでのパターン作成）	MacとiPadの連動	
	10月30日	↓		
	11月6日	↓		
5	11月13日	Illustrator （商品カタログページ作成）	情報の整理整頓	
	11月20日	↓		
	11月27日	↓		

講師区分	常勤	講師名	大島 佐和子	関係実務経験	デザイン事務所にてグラフィックデザイナー経験後、美術学校にて講師経験もあり

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
Mac演習Ⅰ	後期Ⅱ	20	25	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	演習50%・実技40%・講義10%	なし

科目概要	Macパソコンを使用したグラフィックソフト（Illustrator・Photoshop）
習得項目	Illustrator初～中級操作およびPhotoshop初級操作習得 各ソフトウェアの連動操作習得
評価方法	課題作成による知識と技術／期末テストによる基礎知識確認／授業態度／出欠状況をトータルして評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月4日	Illustrator （ハンガーイラスト練習）	ペンツール操作練習	
2	12月11日	Illustrator／テスト勉強 （ポートフォリオ作成）	情報の整理整頓 就活準備	デザイン演習1口
3	12月18日	↓		
4	12月25日	↓		
5	1月15日	↓		
6	1月22日	期末テスト	後期まとめ	
7	1月29日	Illustrator （ポートフォリオ作成）	情報の整理整頓 就活準備	
8	2月5日	ファッションショー準備期間		
9	2月19日	↓		
10	2月26日	ファッションショー振替休日		

講師区分	常勤	講師名	大島 佐和子	関係実務経験	デザイン事務所にてグラフィックデザイナー経験後、美術学校にて講師経験もあり

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
服飾技術実習	前期	112	140	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義30%　実習70%	なし

科目概要	平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。
習得項目	1.各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2.手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3.服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4.納期の期限を守る意識を身につける。
評価方法	・課題評価(縫製技術、デザイン、期限) ・試験 ・出席率

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
製図1	4月11日	基礎原型「レディース原型」	池田式製図方法	
縫製1	4月12日	ピンクッション製作	手縫いの技法	ドレーピング
縫製2	4月13日	基礎縫い・ミシン講義	手縫いの技法 ミシンの扱い方	
製図1	4月18日	採寸	採寸方法	
縫製2	4月19日	基礎縫い	手縫いの技法	
製図1	4月20日	基礎原型「第二原型」 日暮里生地屋案内	池田式製図方法 生地の購入方法	
製図1	4月25日	基礎原型「メンズ原型」	池田式製図方法	
縫製3	4月26日	基礎縫い・トートバッグ製作	手縫い・ミシンの技術と アイテムの縫製方法	
製図1 縫製3	4月27日	基礎原型「セミタイトスカート 」 トートバッグ製作	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
製図2	5月9日	ダーツの展開 「①Wダーツ　②肩ダーツ　③袖ぐりダーツ」	池田式製図方法	
縫製3	5月10日	トートバッグ製作	手縫い・ミシンの技術と アイテムの縫製方法	
製図2 縫製4	5月11日	ダーツの展開「④斜め脇ダーツ　⑤後ろ衿ぐりダーツ ⑥パネルライン」 セミタイトスカート製作	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
製図2	5月16日	ダーツの展開 「⑦デザイン線利用　⑧ヨーク1　⑨ヨーク2」	池田式製図方法	
縫製4	5月17日	セミタイトスカート製作	手縫い・ミシンの技術と アイテムの縫製方法	
製図2,3 縫製4	5月18日	ダーツの展開　部分製図 「⑩ポートネック　ショールカラー」 セミタイトスカート製作	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	

講師区分	常勤	講師名	柳澤 沙織	関係実務経験	当校卒業後、OEM会社にてパタンナーアシスタント、生産管理、お直し等を経験

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
服飾技術実習	前期	112	140	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義30%　実習70%	なし

科目概要	平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。
習得項目	1.各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2.手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3.服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4.納期の期限を守る意識を身につける。
評価方法	・課題評価(縫製技術、デザイン、期限) ・試験 ・出席率

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
製図4	5月23日	ドロップショルダーシャツ	池田式製図方法	
縫製4	5月24日	セミタイトスカート製作	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
製図4 縫製4	5月25日	ドロップショルダーシャツ セミタイトスカート製作	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
製図5	5月30日	スカート各種 「フレアスカート」「ギャザーフレアスカート」	池田式製図方法	
縫製5	5月31日	シャツ製作	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
製図6 縫製5	6月1日	ワンピースドレス各種「ワンピースドレス」 シャツ製作	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
製図6	6月6日	ワンピースドレス各種 「フレンチスリーブワンピースドレス」	池田式製図方法	
縫製5	6月7日	シャツ製作	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
製図3 縫製5	6月8日	部分製図「袖山パフスリーブ」 シャツ製作	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
製図3	6月13日	部分製図 「フラットカラー」	池田式製図方法	
縫製5	6月14日	シャツ製作	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
縫製5	6月15日	〃	〃	
縫製6	6月20日	ワンピース製作	〃	
縫製6	6月21日	〃	〃	
縫製6	6月22日	〃	〃	

講師区分	常勤	講師名	柳澤 沙織	関係実務経験	当校卒業後、OEM会社にてパタンナーアシスタント、生産管理、お直し等を経験

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
服飾技術実習	前期	112	140	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義30%　実習70%	なし

科目概要	平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。
習得項目	1.各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2.手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3.服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4.納期の期限を守る意識を身につける。
評価方法	・課題評価(縫製技術、デザイン、期限) ・試験 ・出席率

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
縫製6	6月27日	ワンピース製作	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
縫製6	6月28日	〃	〃	
縫製6	6月29日	〃	〃	
縫製6	7月4日	〃	〃	
縫製6	7月5日	〃	〃	
縫製6	7月6日	〃	〃	
縫製6	7月11日	〃	〃	
縫製6	7月12日	〃	〃	
縫製6	7月13日	〃	〃	
縫製6	7月18日	〃	〃	
	7月19日	前期修了ショー　1年リハーサル		
	7月20日	前期修了ショー　2年リハーサル		

講師区分	常勤	講師名	柳澤 沙織	関係実務経験	当校卒業後、OEM会社にてパタンナーアシスタント、生産管理、お直し等を経験

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
服飾技術実習	後期Ⅰ	100	125	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義30%　実習70%	なし

科目概要	平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。
習得項目	1.各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2.手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3.服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4.納期の期限を守る意識を身につける。
評価方法	・課題評価(縫製技術、デザイン、期限) ・試験 ・出席率

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
製図1	9月5日	パンツ	池田式製図方法	
縫製1	9月6日	パンツ製作	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
製図2 縫製1	9月7日	ブラウス各種「ヨークシャツ」 パンツ製作	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
製図2	9月12日	ブラウス各種 「ワイシャツ」	池田式製図方法	
縫製1	9月13日	パンツ製作	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
製図2 縫製1	9月14日	ブラウス各種「フリル＆ペプラムシャツ」 パンツ製作	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
製図2,3	9月19日	部分製図「ジャボ」 スカート各種「8枚はぎスカート」	池田式製図方法	
縫製1	9月20日	パンツ製作	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
製図3 縫製1	9月21日	スカート各種「ボックスプリーツスカート」 パンツ製作	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
製図3	9月26日	スカート各種 「キュロットスカート」	池田式製図方法	
縫製1	9月27日	パンツ製作	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
製図4 縫製1	9月28日	ベスト パンツ製作	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
製図5	10月3日	ショールカラージャケット	池田式製図方法	
縫製2	10月4日	部分縫い製作 「ポケット」	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
縫製1	10月5日	パンツ製作	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	

講師区分	常勤	講師名	柳澤 沙織	関係実務経験	当校卒業後、OEM会社にてパタンナーアシスタント、生産管理、お直し等を経験

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
服飾技術実習	後期Ⅰ	100	125	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義30%　実習70%	なし

科目概要	平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。
習得項目	1.各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2.手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3.服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4.納期の期限を守る意識を身につける。
評価方法	・課題評価(縫製技術、デザイン、期限) ・試験 ・出席率

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
縫製1	10月10日	パンツ製作	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
縫製1	10月11日	〃	〃	
縫製2	10月12日	ベスト製作	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
縫製2	10月17日	〃	〃	
縫製2	10月18日	〃	〃	
縫製2	10月19日	〃	〃	
縫製2	10月24日	〃	〃	
縫製2	10月25日	〃	〃	
縫製2	10月26日	〃	〃	
縫製2	10月31日	〃	〃	
縫製2	11月1日	〃	〃	
縫製2	11月2日	〃	〃	
縫製2	11月7日	〃	〃	
縫製2	11月8日	〃	〃	
縫製2	11月9日	〃	〃	

講師区分	常勤	講師名	柳澤 沙織	関係実務経験	当校卒業後、OEM会社にてパタンナーアシスタント、生産管理、お直し等を経験

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
服飾技術実習	後期Ⅰ	100	125	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義30%　実習70%	なし

科目概要	平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。
習得項目	1.各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2.手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3.服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4.納期の期限を守る意識を身につける。
評価方法	・課題評価(縫製技術、デザイン、期限) ・試験 ・出席率

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
縫製2	11月14日	ベスト製作	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	
縫製2	11月15日	〃	〃	
縫製2	11月16日	〃	〃	
縫製3	11月21日	修了製作	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベーシックデザイン
縫製3	11月22日	〃	〃	〃
縫製3	11月28日	〃	〃	〃
縫製3	11月29日	〃	〃	〃
縫製3	11月30日	〃	〃	〃

講師区分	常勤	講師名	柳澤 沙織	関係実務経験	当校卒業後、OEM会社にてパタンナーアシスタント、生産管理、お直し等を経験

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
服飾技術実習	後期Ⅱ	88	110	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技70%・講義30%	なし

科目概要	平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ立体化して着用し、服となっていく工程の理解と 様々な縫製技術の習得をする。
習得項目	1.各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2.手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3.服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4.納期の期限を守る意識を身につける。
評価方法	・課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・試験 ・出席率

授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	縫製1	12月5日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	ベーシックデザイン
	2	12月6日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
	3	12月7日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
	4	12月12日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
	5	12月13日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
	6	12月14日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
	7	12月19日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
	8	12月20日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
	9	12月21日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
	10	12月26日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
	11	1月10日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
	12	1月11日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
	13	1月16日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
	14	1月17日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
	15	1月18日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	

講師区分	常勤	講師名	柳澤 沙織	関係実務経験	当校卒業後、OEM会社にてパタンナーアシスタント、生産管理、お直し等を経験

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
服飾技術実習	後期Ⅱ	88	110	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技70%・講義30%	なし

科目概要	平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ立体化して着用し、服となっていく工程の理解と 様々な縫製技術の習得をする。
習得項目	1.各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2.手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3.服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4.納期の期限を守る意識を身につける。
評価方法	・課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・試験 ・出席率

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
16	1月23日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	ベーシックデザイン
17	1月24日	修了製作	″アイテムの縫製方法 仮縫いの方法″□	
18	1月25日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
19	2月6日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
20	2月7日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
21	2月8日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
22	2月13日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
23	2月14日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
24	2月15日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
25	2月20日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
26	2月21日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
27	2月22日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
28	2月27日	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
29	2月28日	修了製作□	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	
30	2023/2/29	修了製作	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	

講師区分	常勤	講師名	柳澤 沙織	関係実務経験	当校卒業後、OEM会社にてパタンナーアシスタント、生産管理、お直し等を経験

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
カラー	前期	28	35	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	オンライン講義100%	文部科学省後援色彩検定協会

科目概要	AFT色彩検定3級公式テキストを使用し、文部科学省後援AFT色彩検定3級の取得を目指すことを主目的とし、実務にむけたイメーシに合わせたカラーコーディネート、パーソナルカラー(人それぞれに似合う色)概論を学ぶ。 色彩検定日 :6月25日(受験申込者のみ)
習得項目	文部科学省後援AFT色彩検定3級の習得及び、習得した色彩知識を仕事の現場に活かす方法を修得する。さらに、表現したいファッションイメージに合わせて、ロジックに基づいてカラーコーディネートの提案が出来るようになる。 パーソナルカラーの概要を理解し、販売やメイクアップ、ヘアカラー、ファッションデザイン、ファッションスタイリングなどそれぞ れの分野に役立つ知識を習得する(色彩応用編)。
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント「筆記試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。

授業計画

ステップ	(月/日)	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月14日	・授業オリエンテーション ・色の成り立ちと色の表示（PCCS）	色彩検定の概要や取得目的を知る。　PCCSで色の成り立ちの基本を理解する	
2	4月21日	・色の表示（PCCS）、トーンマップの作成	PCCS表色系を理解し配色に活かしていく。	
3	4月28日	・色彩心理（色の心理的効果、色の視覚効果　）	色の心理的効果 、色の視覚効果の習得。	
4	5月12日	・ファッションと色彩、流行色 ・色彩調和①（PCCSを用いた色相配色）	ファッションにおける色彩や流行色について理解。色相配色をファッションを通して習得 。	
5	5月19日	・色彩調和②（PCCSを用いた色相配色とトーン配色）	色相配色とトーン配色をファッションを通して習得。	
6	5月26日	・色彩調和③アクセントカラー、セパレーション、グラデーション等	アクセントカラーなど様々な配色技法とその効果を習得。	
7	6月2日	・光と色①（混色と混色の身近な応用例　）	混色の理解とともに、写真やSNSなど印刷物やモニター画面の混色を理解する。	
8	6月9日	・光と色②（色が見えるしくみ、照明の色　）	色が見えるしくみ、照明の色の見え方を理解する。	
9	6月16日	・インテリアと色彩 ・検定直前対策①	項目［全7項目］ごとの出題ポイントを理解する。	
10	6月23日	・検定直前対策②	項目［全7項目］ごとの出題ポイントを理解する。	
11	6月30日	・イメージに合わせたファッションカラーコーディネート①	カジュアルやモダンなど8種類の配色イメージをイメージスケールで理解する。	
12	7月7日	・イメージに合わせたファッションカラーコーディネート②	ファッションにおけるイメージを理解し、イメージに合わせてコラージュ制作とカラーコーディネートが出来る。	
13	7月14日	・パーソナルカラー概論と仕事での取り入れ方	パーソナルカラー理論の基礎知識を習得。	

講師区分	非常勤	講師名	堀川彩里	関係実務経験	文部科学省後援色彩検定協会認定 色彩講師として、色彩検定やパーソナルカラー検定対策を行う他、ファッション・ブライダル・メイク・アニメ・ゲーム等各分野の企業や学校の色彩講義を担当。

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
服飾史	前期	28	35	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	オンライン講義	なし

科目概要	古代から現代までの洋服の歴史を知る。素材、形、構造など。
習得項目	知識として素材、構造を考える。下着など 賞品のデザインなど理解、説明に役立てる。
評価方法	レポート、課題の提出。 平常点 以上の平均点

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題		他授業連携
1	4月14日	衣服の起源	洋服とは	
2	4月21日	衣服の形　素材	洋服とは	
3	4月28日	古代エジプト、メソポタミア	布を巻く	
4	5月12日	古代ギリシャ、ローマ	大きな布	
5	5月19日	ビザンチン、ロマネスク	袖	
6	5月26日	ゴシック、ルネサンス	上衣・下衣	
7	6月2日	バロック、ロココ	コルセット・パニエ	
8	6月9日	フランス革命、ナポレオン	古代風	
9	6月16日	近代、市民革命	産業革命	
10	6月23日	世紀末	下着	
11	7月7日	２０世紀	女性の社会進出	
12	7月14日	アールヌーボー、アール・デコ	現代服	
13	7月21日	１９３０年代	新しい素材	

講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫	関係実務経験	雑誌編集、アパレルデザイナー、手芸研究家

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
トレンド分析・商品企画	前期	28	35	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義50%/実習50%	なし

科目概要	アパレル製品の基礎知識を学ぶ 製品構造の基礎知識を学ぶ
習得項目	製品のアイテム名、ディテール名などの知識習得 製品構造を理解し、図に表現できるスキル習得
評価方法	各項目に標準点を置き「意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。 （成績評価が60点未満の場合は補講の対象）

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1（製品基礎知識）	4月11日	授業内容説明・オリエンテーション 自己紹介/目指す職業のヒアリング		
	4月18日	スカートのデザインバリエーション プリーツディテール名称学習	スカート基礎知識	
	4月25日	前週の復習、小テスト パンツのシルエット 主なディティール名称学習	パンツ基礎知識	
	5月9日	前週の復習、小テスト シャツのデザインバリエーション 主なディティール名称学習	シャツ基礎知識	
	5月16日	前週の復習、小テスト ブラウスのデザインバリエーション 主なディティール名称学習	ブラウス基礎知識	
	5月23日	前週の復習、小テスト シャツ&ブラウスカラーバリエーション学習 シャツ&ブラウススリーブバリエーション学習	衿・袖の基礎知識	
	5月30日	前週の復習、小テスト ジャケット、ブレザーバリエーション学習	アウター基礎知識	
2（製品構造知識）	6月6日	ジャンパー、コートのバリエーション 製品図（ハンガーイラスト）概要	アウター基礎知識 製品構造知識と表現力	Mac演習
	6月13日	製品図（ハンガーイラスト） 全体のバランスを学習	製品構造知識と表現力	Mac演習
	6月20日	製品図（ハンガーイラスト） 製品構造表現を学習	製品構造知識と表現力	Mac演習
	6月27日	製品図（ハンガーイラスト） 製品構造表現を学習	製品構造知識と表現力	Mac演習
	7月4日	期末テスト		
3（商品企画知識）	7月11日	2022～2023トレンド振り返り トレンド情報と実際のマーケットとの違い	トレンドの流れを理解	
	7月18日	商品企画について 商品企画から商品化までの流れを学習	商品企画基礎知識	

講師区分	非常勤	講師名	吉岡　文子	関係実務経験	中小アパレルメーカーでのファッションデザイナー・MD・生産実務経験 大手アパレルメーカーでのファッションデザイナー実務経験

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
トレンド分析・商品企画	後期Ⅰ	26	32.5	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義50%/実習50%	なし

科目概要	マーケット、ブランドの分析方法、商品企画能力を学ぶ
習得項目	製品のアイテム名、ディテール名などの知識習得 製品構造を理解し、図に表現できるスキル習得
評価方法	各項目に標準点を置き「意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。 （成績評価が60点未満の場合は補講の対象）

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1 （商品企画知識）	9月5日	商品企画について ブランドコンセプトの考え方 シーズン別コンセプト立案方法	コンセプト立案方法	
	9月12日	商品企画について 商品構成 主力商品、見せ筋商品の考え方	商品構成知識	
	9月19日	商品企画/マーケットリサーチについて リサーチの目的 目的別リサーチ方法	リサーチの必要性と方法	
	9月26日	マーケットリサーチ 気温、体感温度と店頭商品の違い	マーケットの現状を理解	
	10月3日	リサーチレポート 目的別にリサーチ結果をまとめる	情報収集力	
2 （商品企画知識）	10月10日	年間カラー計画 カラー計画の必要性	カラー計画の必要性	
	10月17日	年間カラー計画を立てる シーズン、気温、マーケットムードを意識	カラー計画方法	
3 （商品企画知識）	10月24日	年間キースタイリング計画を立てる シーズン、気温、マーケットムードを意識	キースタイリング計画必要性	
	10月31日	年間キースタイリング計画を立てる シーズン、気温、マーケットムードを意識	キースタイリング計画方法	
	11月7日	年間キースタイリング計画を立てる シーズン、気温、マーケットムードを意識	キースタイリング計画方法	
	11月14日	課題提出日		
	11月21日	課題プレゼン発表	プレゼン能力向上	
4 （実務演習）	11月28日	マーケットリサーチ アウター、セーター、クリスマス関連商品にフォーカス	マーケットの現状把握	

講師区分	非常勤	講師名	吉岡 文子	関係実務経験	中小アパレルメーカーでのファッションデザイナー・MD・生産実務経験 大手アパレルメーカーでのファッションデザイナー実務経験

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
トレンド分析・商品企画	後期Ⅱ	22	27.5	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義50%/実習50%	なし

科目概要	業界スケジュールの理解と実務に合わせた商品企画 仕様書の基礎を学ぶ
習得項目	製品のアイテム名、ディテール名などの知識習得 製品構造を理解し、図に表現できるスキル習得
評価方法	各項目に標準点を置き「意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。 （成績評価が60点未満の場合は補講の対象）

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1 （実務演習）	12月5日	リサーチレポート/2024年12月商品構成 業界スケジュールに合わせた商品企画について	商品企画思考力	
	12月12日	2024年AW商品企画を考える 来年の10月～12月店頭商品を企画 資料作成	商品企画思考力	
	12月19日	2024年AW商品企画を考える 来年の10月～12月店頭商品を企画 資料作成	商品企画思考力	
	12月26日	2024年AW商品企画を考える 来年の10月～12月店頭商品を企画 課題提出	商品企画思考力	
2 （仕様書知識）	1月16日	仕様書とは何か 仕様書の見方	仕様書の概要	
	1月23日	仕様書必要項目の説明 用尺、芯地、釦など	仕様書の概要	
	1月30日	仕様書必要項目の説明 納品方法、ブランドネーム、品質表示など	仕様書の概要	
	2月6日	FS期間		
	2月13日	FS期間		
	2月20日	FS期間		
	2月27日	FS片づけ日		

講師区分	非常勤	講師名	吉岡 文子	関係実務経験	中小アパレルメーカーでのファッションデザイナー・MD・生産実務経験 大手アパレルメーカーでのファッションデザイナー実務経験

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
就職ガイダンス	後期Ⅰ	24	30	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	オンライン講義　100	なし

科目概要	就職へ向けて、仕事について理解を深め、就職活動の基本的な流れ・知識を身につける。 自己分析を行い、志望職種や志望企業を定める。
習得項目	・就職活動の基本的な流れ、スケジュールの把握 ・自己分析とそこから紐づく書類作成の準備 ・選考内容の基礎知識
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。（出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる） 出席率が65%未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月1日	オリエンテーション（授業説明、就職活動の流れ、就職意識調査）		
	9月8日	バス遠足		
2	9月15日	仕事とは？働き方とライフスタイル	働き方の理解	
3	9月22日	自己分析（性格テスト、マインドマップの作成）	自己理解	
4	9月29日	アパレル業界概論	業界の構造理解	
5	10月6日	アパレル職種研究	職種の理解	
6	10月13日	内定者からの就職体験談、就活スケジュール作成		
	10月20日	運動会		
7	10月27日	求人情報の調べ方、就活ツール解説	求人票の見方の理解	
8	11月10日	オンライン選考対策（ツールの使い方）	オンラインツールの使用法の理解	
9	11月17日	自己PR対策	自己PRの作成	
10	11月24日	志望動機対策	志望動機の作成	

講師区分	常勤	講師名	久野　麻衣	関係実務経験	採用、新人研修

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
就職ガイダンス	後期Ⅱ	22	27.5	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	オンライン講義　100%	なし

科目概要	就職へ向けて、仕事について理解を深め、就職活動の基本的な流れ・知識を身につける。 自己分析を行い、志望職種や志望企業を定める。
習得項目	就職活動の基本的な流れ、スケジュールの把握 自己分析とそこから紐づく書類作成の準備 選考内容の基礎知識
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。（出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる） 出席率が65%未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月1日	面接マナー、対策	面接マナー	
2	12月8日	書類選考課題対策（過去事例の紹介、課題作成）	選考書類用文章作成	
	12月15日	書類選考課題対策（課題フィードバック）	選考書類用文章作成	
3	12月22日	ポートフォリオ対策□	ポートフォリオに必要な項目の把握	
4	1月12日	志望企業リストアップ	企業に関する知識	
5	1月19日	履歴書作成 1	履歴書作成のルール	
	1月26日	履歴書作成 2	履歴書用文章作成	
6	2月2日	今後の就職活動	就活スケジュール	
	2/9~	ショー週間		

講師区分	常勤	講師名	久野　麻衣	関係実務経験	採用、新人研修

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ファッション素材学	後期Ⅰ	24	30	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	オンライン講義　100%	なし

科目概要	アパレル製品の素材としての繊維、糸、布地を理解し、製作、販売、コーディネートに役立てる。 繊維、記事の名前を知る。 教科書　　わかりやすいアパレル素材の知識　　一見輝彦著
習得項目	繊維の分類、種類、特性を知る。 生地、製品の取り扱い方、特性を知る。
評価方法	レポート、提出物 平常点 以上の平均点

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月1日	アパレル素材とは　1	衣服と素材	
2	9月8日	アパレル素材とは　２	衣服と素材	
3	9月15日	繊維の分類　名称　天然繊維	繊維を知る	
4	9月22日	繊維の分類、名称、化学繊維	繊維を知る	
5	9月29日	糸について	糸の構造	
6	10月6日	織物の三原組織	織物の構造	
7	10月13日	基本的な柄の名前	布の名前	
8	10月20日	秋冬の布　　素材の扱い	布の名前	
9	10月27日	編み物について	編み物の構造	
10	11月10日	裏地、芯地について	副資材	
11	11月17日	加工について	副資材口	
12	11月24日	デニムとジーンズ	身近な素材	

講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫	関係実務経験	雑誌編集、アパレルデザイナー、手芸研究家

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ファッション素材学	後期Ⅱ	22	27.5	アパレル造形科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	オンライン講義　100%	なし

科目概要	アパレル製品の素材としての繊維、糸、布地を理解し、製作、販売、コーディネートに役立てる。 繊維、記事の名前を知る。 教科書　　わかりやすいアパレル素材の知識　　一見輝彦著
習得項目	繊維の分類、種類、特性を知る。 生地、製品の取り扱い方、特性を知る。
評価方法	レポート、提出物 平常点 以上の平均点

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
13	12月1日	レースについて	織物、編み物以外の素材	
14	12月8日	皮と毛皮	織物、編み物以外の素材	
15	12月15日	不織布とフェルト	織物、編み物以外の素材	
16	12月22日	染色とプリント	色を付ける	
17	1月12日	繊維の見分け方	扱い方	
18	1月19日	繊維の見分け方	扱い方	
19	1月26日	新しい素材	新時代	

講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫	関係実務経験	雑誌編集、アパレルデザイナー、手芸研究家

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
産学連携実習	前期	56	70	アパレル造形科 デザイナーコース	2	D

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技60% 講義40%	株式会社ベネフィット 他

科目概要	企業の仕事についての理解を深めるため企業と連携して実践的な課題に取り組むことで、アパレル業界で必要となる知識や経験を得る。
習得項目	・課題に対しての理解力を養い、提案能力を習得 ・問題解決能力を養う ・プレゼン能力の習得
評価方法	各項目に標準点を置き「授業態度・製作意欲・習熟度」100ポイントを担当講師採点。 「課題評価」100ポイントを連携企業採点として、その平均値を算出し評価を行う。 （出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる）　出席率が65%未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月10日	オリエンテーション		
2	4月17日	Tシャツグラフィックデザイン 課題説明	課題内容の理解	株式会社ベネフィット
3	4月24日	Tシャツグラフィックデザイン ショップリサーチ	リサーチ能力	↓
4	5月1日	Tシャツグラフィックデザイン 課題ワーク	提案能力	↓
5	5月8日	↓	↓	↓
6	5月15日	↓	↓	↓
7	5月22日	Tシャツグラフィックデザイン 中間チェック	プレゼン能力の習得	↓
8	5月29日	Tシャツグラフィックデザイン 課題ワーク	問題解決能力の習得	↓
9	6月5日	Tシャツグラフィックデザイン 企画プレゼン	プレゼン能力の習得	↓
10	6月12日	リメイク　課題説明	課題内容の理解	株式会社アズノゥアズ
11	6月19日	リメイク　リサーチ	リサーチ能力	↓
12	6月26日	リメイク　課題ワーク	提案能力	↓
13	7月3日	↓	↓	↓
14	7月10日	↓	↓	↓

講師区分	常勤	講師名	石川誠・久野麻衣	関係実務経験	国内外ブランドでの営業・ MD実務と営業部長、MD部長を歴任

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
産学連携実習	後期Ⅰ	44	55	アパレル造形科 デザイナーコース	2	D

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技60% 講義40%	株式会社アズノゥアズ 他

科目概要	企業の仕事についての理解を深めるため企業と連携して実践的な課題に取り組むことで、アパレル業界で必要となる知識や経験を得る。
習得項目	・課題に対しての理解力を養い、提案能力を習得 ・問題解決能力を養う ・プレゼン能力の習得
評価方法	各項目に標準点を置き「授業態度・製作意欲・習熟度」100ポイントを担当講師採点。 「課題評価」100ポイントを連携企業採点として、その平均値を算出し評価を行う。 （出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる）　出席率が65%未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月4日	リメイク　課題ワーク	提案能力	株式会社アズノゥアズ
2	9月11日	リメイク　中間チェック	プレゼン能力の習得	↓
3	9月25日	リメイク　課題ワーク	問題解決能力の習得	↓
4	10月2日	リメイク　企画プレゼン	プレゼン能力の習得	↓
5	10月16日	コラボ商品企画　課題説明	課題内容の理解	株式会社アミナコレクション
6	10月23日	ファッションワールド東京見学	業界構造理解	RX Japan株式会社
7	10月30日	コラボ商品企画　ショップリサーチ	提案能力	株式会社アミナコレクション
8	11月6日	コラボ商品企画　課題ワーク	↓	↓
9	11月13日	↓	↓	↓
10	11月20日	↓	↓	↓
11	11月27日	コラボ商品企画　中間チェック	プレゼン能力の習得	↓

講師区分	常勤	講師名	石川誠・久野麻衣	関係実務経験	国内外ブランドでの営業・MD実務／ 雑誌・webメディアの編集・ライター実務

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
産学連携実習	後期Ⅱ	40	50	アパレル造形科 デザイナーコース	2	D

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技60% 講義40%	株式会社クレヨン 他

科目概要	企業の仕事についての理解を深めるため企業と連携して実践的な課題に取り組むことで、アパレル業界で必要となる知識や経験を得る。
習得項目	・課題に対しての理解力を養い、提案能力を習得 ・問題解決能力を養う ・プレゼン能力の習得
評価方法	各項目に標準点を置き「授業態度・製作意欲・習熟度」100ポイントを担当講師採点。 「課題評価」100ポイントを連携企業採点として、その平均値を算出し評価を行う。 （出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる）　出席率が65%未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月5日	コラボ商品企画　課題ワーク	問題解決能力の習得	株式会社アミナコレクション
2	12月11日	コラボ商品企画　企画プレゼン	プレゼン能力の習得	↓
3	12月18日	ブランド商品企画 課題説明	リサーチ力	株式会社クレヨン
4	12月25日	ブランド商品企画 ショップリサーチ	提案能力	↓
5	1月15日	ブランド商品企画 課題ワーク	↓	↓
6	1月22日	↓	↓	↓
7	1月29日	ブランド商品企画 企画プレゼン	プレゼン能力の習得	↓
8	2月5日	ショー週間		
9	2月19日	↓		
10	2月26日	↓		

講師区分	常勤	講師名	石川誠・久野麻衣	関係実務経験	国内外ブランドでの営業・ MD実務と営業部長、MD部長を歴任

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
服飾造形実習	前期	112	140	アパレル造形科 デザイナーコース	2	D

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技80%・講義20%	なし

科目概要	1. ジーンズの製図から作品制作 2. シャツの製図から作品制作 3. サマージャケットの製図から作品制作
習得項目	パンツ・シャツ・ジャケットの基本型をベースとして、オリジナルデザインの洋服を2アイテム制作する。
評価方法	1. 出席率 2. 提出課題の成績 3. テストの成績

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月11日～14日	ジーンズ製図	基礎を応用に活かす作品	
2	4月18日～21日	裁断・本縫い		
3	4月25日～28日	本縫い完成		
4	5月9日～12日	Yシャツ製図		
5	5月16日～19日	裁断・芯貼り・身頃本縫い		
6	5月23日～26日	袖・衿作成・付け		
7	6月2日	本縫い完成		
8	6月6日～9日	サマージャケット製図		
9	6月13日～16日	裁断・芯貼り・ロック・身頃本縫い		
10	6月20日～23日	袖・衿付け・本縫い完成		
11	6月27日～30日	前期ショー作品製図アレンジ		
12	7月4日～7日	裁断・芯貼り・ロック・本縫い		
13	7月11日～14日	裁断・芯貼り・ロック・本縫い		
14	7月18日	本縫い完成		
		ピギーズは夏休みからスタートする		

講師区分	常勤	講師名	リビ　裕子	関係実務経験	アパレル企業でパタンナー５年、 服飾系専門学校講師歴 継続して40年

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
服飾造形実習	後期Ⅰ	100	125	アパレル造形科 デザイナーコース	2	D

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技80%・講義20%	なし

科目概要	1.総裏仕立てのジャケットを製図から作品制作
習得項目	ジャケットの基本型をベースとして、オリジナルデザインの総裏仕立てのジャケットを制作する。
評価方法	1.出席率 2.提出課題の成績 3.テストの成績

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月1日	ジャケットの製図	獣医療の縫製を学ぶ	
2	9月5日～7日	製図（表地・裏地・芯）		
3	9月12日～15日	工業用パターン作成		
4	9月19日～22日	裁断（表・裏・芯）		
5	9月26日～29日	芯貼り・テープ貼り		
6	10月3日～6日	前後の身頃（表・裏）作成		
7	10月10日～13日	ポケット作成・付け		
8	10月17日～19日	衿　作成・付け		
9	10月24日～27日	衿・前端どんでん縫い		
10	11月1日～2日	袖（表・裏地）作成		
11	11月7日～10日	袖（表・裏地）付け		
12	11月14日～16日	中綴じ		
13	11月21日～24日	ステッチ・仕上げ	卒制製図入る	
14	11月28日～30日	釦ホール・釦付け		

講師区分	常勤	講師名	リビ　裕子	関係実務経験	アパレル企業でパタンナー５年、 服飾系専門学校講師歴 継続して40年

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
デザインドローイング	前期	28	35	アパレル造形科 デザイナーコース	2	D

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実習100%	なし

科目概要	１．テーマや素材、世にある優れたデザインに目を向け想像応用力（コンテスト）を養う。 ２．コンセプト、デザインストーリーの構築を理解する。
習得項目	企画書、仕様書の作成
評価方法	授業姿勢、製作課題評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月11日	コンテストスタイル画作品・１ 第２３回YKKファスニングアワード	表現力・独創性・ 作品の完成度	
	4月18日	コンテストスタイル画作品・１ 第２３回YKKファスニングアワード	〃	
	4月25日	コンテストスタイル画作品・１ 第２３回YKKファスニングアワード	〃	
2	5月9日	コンテストスタイル画作品・２ 日暮里ファッションデザインコンテスト２０２３	表現力・独創性・ 作品の完成度	
	5月16日	コンテストスタイル画作品・２ 日暮里ファッションデザインコンテスト２０２３	〃	
	5月23日	コンテストスタイル画作品・２ 日暮里ファッションデザインコンテスト２０２３	〃	
	5月30日	コンテストスタイル画作品・２ 日暮里ファッションデザインコンテスト２０２３	〃	
3	6月6日	コンテストスタイル画作品・３ RECLOTHES CUP 2023 BOOKOFF主催アップサイクルデザインコンテスト	表現力・独創性・ 作品の完成度	
	6月13日	コンテストスタイル画作品・３ RECLOTHES CUP 2023 BOOKOFF主催アップサイクルデザインコンテスト	〃	
	6月20日	コンテストスタイル画作品・３ RECLOTHES CUP 2023 BOOKOFF主催アップサイクルデザインコンテスト	〃	
	6月27日	コンテストスタイル画作品・３ RECLOTHES CUP 2023 BOOKOFF主催アップサイクルデザインコンテスト	〃	
4	7月4日	コンテストスタイル画作品・４ ピギーズ	表現力・独創性・ 作品の完成度	服飾造形実習 ／ リビ先生
	7月11日	コンテストスタイル画作品・４ ピギーズ	〃	〃
5	7月18日	コンテストスタイル画作品・５ ユニフォームコンクール「第２５回千年大賞」	表現力・独創性・ 作品の完成度	

講師区分	常勤	講師名	ジョノーエロイーズ	関係実務経験	Marani、L'sEclaireur、 2G2L　Fashion　Design and Consultingに デザイナーとして勤務

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
デザインドローイング	後期Ⅰ	26	32.5	アパレル造形科 デザイナーコース	2	D

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実習100%	なし

科目概要	１．テーマや素材、世にある優れたデザインに目を向け想像応用力（コンテスト）を養う。 ２．コンセプト、デザインストーリーの構築を理解する。
習得項目	企画書、仕様書の作成
評価方法	授業姿勢、製作課題評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月5日	コンテストスタイル画作品・５ ユニフォームコンクール「第２５回千年大賞」	表現力・独創性・ 作品の完成度	
	9月12日	コンテストスタイル画作品・５ ユニフォームコンクール「第２５回千年大賞」	〃	
2	9月19日	コンテストスタイル画作品・６ 第９８回装苑賞	表現力・独創性・ 作品の完成度	
	9月26日	コンテストスタイル画作品・６ 第９８回装苑賞	〃	
	10月3日	コンテストスタイル画作品・６ 第９８回装苑賞	〃	
	10月10日	コンテストスタイル画作品・６ 第９８回装苑賞	〃	
	10月17日	コンテストスタイル画作品・６ 第９８回装苑賞	〃	
3	10月24日	コンテストスタイル画作品・７ FASHION SHOES CONTEST 2024	表現力・独創性・ 作品の完成度	
	10月31日	コンテストスタイル画作品・７ FASHION SHOES CONTEST 2024	〃	
	11月7日	コンテストスタイル画作品・７ FASHION SHOES CONTEST 2024	〃	
4	11月14日	コンテストスタイル画作品・８ SUSTAINABLE FASHION DESIGN AWARD	表現力・独創性・ 作品の完成度	
	11月21日	コンテストスタイル画作品・８ SUSTAINABLE FASHION DESIGN AWARD	〃	
	11月28日	コンテストスタイル画作品・８ SUSTAINABLE FASHION DESIGN AWARD	〃	

講師区分	常勤	講師名	ジョノーエロイーズ	関係実務経験	Marani、L'sEclaireur、 2G2L　Fashion　Design and Consultingに デザイナーとして勤務

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
デザインドローイング	後期Ⅱ	22	27.5	アパレル造形科 デザイナーコース	2	D

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実習100%	なし

科目概要	１．テーマや素材、世にある優れたデザインに目を向け想像応用力（コンテスト）を養う。 ２．コンセプト、デザインストーリーの構築を理解する。
習得項目	企画書、仕様書の作成
評価方法	授業姿勢、製作課題評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月5日	コンテストスタイル画作品・９ UMBRELLA DESIGN COMPETITION 2024	表現力・独創性・ 作品の完成度	
	12月12日	コンテストスタイル画作品・９ UMBRELLA DESIGN COMPETITION 2024	〃	
2	12月19日	コンテストスタイル画作品・１０ MANHATTAN PORTAGE ART AWARD 2024	表現力・独創性・ 作品の完成度	
	12月26日	コンテストスタイル画作品・１０ MANHATTAN PORTAGE ART AWARD 2024	〃	
3	1月16日	デザイン製作技法の指導		卒業製作実習 ／ リビ先生
	1月23日	デザイン製作技法の指導		〃
	1月30日	デザイン製作技法の指導		〃

講師区分	常勤	講師名	ジョノーエロイーズ	関係実務経験	Marani、L'sEclaireur、 2G2L　Fashion　Design and Consultingに デザイナーとして勤務

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
就職キャリアデザイン	前期	28	35	アパレル造形科 デザイナーコース	2	D

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	オンライン講義　100	株式会社イング 他

科目概要	就職活動やキャリア形成のために必要な知識・マナーを習得する。 就職活動を促進するような企業説明会の実施。
習得項目	エントリーシート、履歴書、ポートフォリオ等、就活で必要となる提出書類の作成。 面接時に必要となるマナーや質問事項への回答。 SPIや一般常識などの筆記試験対策。
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。（出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる） 出席率が65%未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月12日	オリエンテーション（就活の流れ、22年新卒採用状況）		
2	4月19日	書類作成（エントリーシート作成、ポートフォリオについて）	書類作成方法	
3	4月26日	面接解説（マナー指導、よくある出題と対策）	面接マナー	
4	5月10日	web面接対策（マナー指導、自己紹介）	webツールの使用方法	
5	5月17日	グループディスカッション対策	グループディスカッションの内容把握	
6	5月24日	企業説明会①	企業理解	株式会社イング
7	5月31日	SPI、常識問題対策	SPI、常識問題の形式把握	
8	6月7日	模擬面接1	面接でのアピール方法	
9	6月14日	課題提出、実技試験対策（過去事例の紹介）	試験内容の把握	
10	6月21日	模擬面接2	面接でのアピール方法	
11	6月28日	アパレル以外の業界・企業研究	業界知識	
12	7月5日	アパレル以外の業界・企業研究（課題発表）	↓	
13	7月12日	今後の就職活動、転職、キャリアアップについて	キャリアビジョン	
14	7月19日	前期ショーリハ		

講師区分	常勤	講師名	久野　麻衣	関係実務経験	採用、新人研修

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
デザインワーク	前期	28	35	アパレル造形科 デザイナーコース	2	D

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実習実技100%	なし

科目概要	クリエーション（ART）の追求をファッションとしての表現として探求することで（非プロダクトデザイン）、デザインの目的（プロダクトと１作品としての関係）を理解し、合わせてコンセプトやデザインのストーリー構築を理解する。 自己の考えについてのプレゼンテーション力の強化を行う。
習得項目	1.コンセプト、デザインストーリーの構築力（ファッション・デザインに課せられた表現の役割） 2.素材知見、素材表現 3.自己の製作表現（卒業製作）
評価方法	1.課題評価（技術面、表現・思考面） 2.授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月13日	卒業修了ショーデザイン① 「自分の好きなデザイン系統について、 文章とイラスト表現」	分析・構築力 プレゼンテーション力	「卒業制作ファッションショー制作実習」
	4月20日	卒業修了ショーデザイン② 「自分の好きなデザイン系統について、 文章とイラスト表現」一次まとめ	〃	〃
	4月27日	卒業修了ショーデザイン③ 「自分の好きなスタイル系統について、 文章とイラスト表現」一次まとめ	〃	〃
2	5月12日	素材研究① 実験加工・テキスタイルテクニック	基礎表現力の習得 （素材に関する知見の向上）	
	5月18日	素材研究② 各種材料、素材研究	〃	
	5月25日	シルクスクリーン実習①	基礎表現力の習得 （技術の体験実習）	
	6月1日	シルクスクリーン実習② プリントデザイン原画作成	〃	
	6月8日	シルクスクリーン実習③ プリントデザイン原画作成	〃	
	6月15日	シルクスクリーン実習④ 版下作成	〃	
	6月22日	シルクスクリーン実習⑤ 版下作成	〃	
	6月29日	シルクスクリーン実習⑥ 製版	〃	
	7月6日	シルクスクリーン実習⑦ 製版	〃	
	7月13日	シルクスクリーン実習⑧ 捺染	〃	
	7月20日	シルクスクリーン実習⑩★ 捺染	〃	

講師区分	常勤	講師名	石川　和男	関係実務経験	国内外アパレルデザイン、プロダクトデザインに携わった経験をもち、実務の経験からスタイル画表現について指導する。

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
デザインワーク	後期Ⅰ	24	30	アパレル造形科 デザイナーコース	2	D

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実習実技100%	なし

科目概要	クリエーション（ART）の追求をファッションとしての表現として探求することで（非プロダクトデザイン）、デザインの目的（プロダクトと１作品しての関係）を理解し、合わせてコンセプトやデザインのストーリー構築を理解する。 自己の考えについてのプレゼンテーション力の強化を行う。
習得項目	1.コンセプト、デザインストーリーの構築力（ファッション・デザインに課せられた表現の役割） 2.素材知見、素材表現 3.自己の製作表現（卒業製作）
評価方法	1.課題評価（技術面、表現・思考面） 2.授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
3	9月7日	卒業修了ショーデザイン④ 「自分の卒業作品の素材を「作る」「集める」	応用表現 （インスピレーション）	服飾技術実習
	9月14日	卒業修了ショーデザイン⑤ 「自分の卒業作品の素材を「作る」「集める」	〃	〃
	9月21日	卒業修了ショーデザイン⑤ 「自分の卒業作品の素材を「作る」「集める」	〃	〃
	9月28日	卒業修了ショーデザイン⑦ 「自分の卒業作品アイデアついて、 文章とイラスト表現」二次まとめ	応用表現 （アイデア構築）	〃
	10月5日	卒業修了ショーデザイン⑧ 「自分の卒業作品アイデアついて、 文章とイラスト表現」二次まとめ	〃	〃
	10月12日	卒業修了ショーデザイン⑨★ 「自分の卒業作品アイデアついて、 文章とイラスト表現」二次まとめ	〃	〃
	10月19日	造形デザイン演習① 1/2トルソー卒業作品造形製作トライアンドエラー	応用表現 （造形デザイン構築力）	〃
	10月26日	造形デザイン演習② 1/2トルソー卒業作品造形製作トライアンドエラー	〃	「卒業制作ファッションショー制作実習」
	11月2日	造形デザイン演習③ 1/2トルソー卒業作品造形製作	〃	服飾技術実習
	11月9日	造形デザイン演習④ 1/2トルソー卒業作品造形製作	〃	〃
	11月16日	造形デザイン演習⑤★ 1/2トルソー卒業作品造形製作	〃	〃
	11月30日	作品製作実習① 卒業制作作品素材製作	応用表現 （応用表現力）	〃

講師区分	常勤	講師名	石川　和男	関係実務経験	国内外アパレルデザイン、プロダクトデザインに携わった経験をもち、実務の経験からスタイル画表現について指導する。

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
デザインワーク	後期Ⅱ	22	27.5	アパレル造形科 デザイナーコース	2	D

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実習実技100%	なし

科目概要	クリエーション（ART）の追求をファッションとしての表現として探求することで（非プロダクトデザイン）、デザインの目的（プロダクトと１作品としての関係）を理解し、合わせてコンセプトやデザインのストーリー構築を理解する。 自己の考えについてのプレゼンテーション力の強化を行う。
習得項目	1.コンセプト、デザインストーリーの構築力（ファッション・デザインに課せられた表現の役割） 2.素材知見、素材表現 3.自己の製作表現（卒業製作）
評価方法	1.課題評価（技術面、表現・思考面） 2.授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
3	12月7日	作品製作実習② 卒業制作作品素材製作	応用表現 （応用表現力）	服飾技術実習
	12月14日	作品製作実習③ 卒業制作作品素材製作	〃	〃
	12月21日	作品製作実習④ 卒業制作作品素材製作	〃	〃
	1月11日	卒業制作実習① 卒業制作各自作品製作	〃	〃
	1月18日	卒業制作実習② 卒業制作各自作品製作	〃	〃
	1月25日	卒業制作実習③ 卒業制作各自作品製作	〃	〃
	2月1日	卒業制作実習④ 卒業制作各自作品製作	〃	〃
	2月8日			
	2月15日			
	2月22日			
	2月29日			

講師区分	常勤	講師名	石川　和男	関係実務経験	国内外アパレルデザイン、プロダクトデザインに携わった経験をもち、実務の経験からスタイル画表現について指導する。

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
卒業制作ファッションショー制作実習	前期	28	35	アパレル造形科 デザイナーコース	2	D

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技８０％・講義２０％	なし

科目概要	ショー企画、全体会議 ファッションショーのテーマ及びカテゴリー名を考える。衣装デザインを準備する。
習得項目	話し合いの協調性・自己主張・デザインの発想力を養う。
評価方法	話し合いの協調性・自己主張・デザインの発想力での評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月14日	ショー全体の説明、授業の流れ リーダー、サブリーダー決める	話し合いの協調性□	デザインワーク
2	4月21日	クラス内で１人１案出して１人ずつ発表 ３案に決める、資料作り	発想力を高める	デザインワーク
3	4月28日	３案のプレゼン資料作りパワポにて	発想力を高める□	
4	5月12日	３案×４クラス＝１２案の説明、共有	話し合いの協調性	
5	5月19日	プレゼンに向けての資料作り	プレゼンテーション力 を高める	
6	5月26日	プレゼン練習	プレゼンテーション力 を高める□	
7	6月2日	全体テーマ決め理事長プレゼン本番	プレゼンテーション力 を高める	
8	6月9日	6~7チームへクラス分けする	話し合いの協調性	
9	6月16日	グループ名話し合い、資料作り	話し合いの協調性	
10	6月23日	資料作り	発想力を高める	
11	6月30日	資料の修正, プレゼン練習	プレゼンテーション力 を高める	
12	7月7日	カテゴリー決め理事長プレゼン	プレゼンテーション力 を高める□	
	7月14日	自習予備日		
13	7月21日	前期修了ショー		

＊たたき台のデザイン画夏休みの宿題　＊9月からデザイン画スタート１０月末にデザイン画上がり

講師区分	常勤	講師名	鷺典子、柳澤沙織、 上野菜月、 ジョノーエロイーズ	関係実務経験	コレクションブランドのデザイナー、 舞台衣装のデザイナー経験あり

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
PCワーク	後期Ⅰ	26	32.5	アパレル造形科 デザイナーコース	2	D

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義10%　・　実習90%	なし

科目概要	Windowsパソコンの操作方法と、ビジネスソフト（Word・Excel・Powerpoint）の使い方を習得する。 基本的なタイピングからWordを使用した文章作成技術を習得。 Excelを使用した表やグラフの作成技術を習得。 Powerpointを使用してプレゼンデータを作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことを目指す。
習得項目	1.Windowsパソコンの基本操作やキーボードを使ったタイピング技術を身に付ける。 2.Wordによる基本的な文書作成を行えるようにする。 3.Excelを使用した表やグラフの作成、関数を使用した表の作成方法を身に付ける。 4.PowerPointを使用したプレゼンテーションデータを作成する。
評価方法	授業態度、課題提出、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント「課題評価」100ポイント「技術試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月6日	Windowsパソコンの基本操作 タイピング練習	Windows基本操作の 理解	
2	9月13日	<Word>簡単なビジネス文書、表入り文書の作成	Word基礎レベルの理解	
3	9月20日	<Word>画像入り文書の作成	↓	
4	9月27日	<Word>図形やテキストボックスを使用した文書の作成	↓	
5	10月4日	<Word>ヘッダー/フッターを使用した文書の作成	Word実務レベルの理解	
6	10月11日	<Word>ビジネス文書の校正	↓	
7	10月18日	検定試験演習	MOS試験問題の把握	
8	10月25日	<Powerpoint> プレゼンデータの作成①	PowerPoint基礎レベル の理解	
9	11月1日	<Powerpoint> プレゼンデータの作成②	↓	
10	11月8日	<Excel>簡単な表の作成、四則計算	Excel基礎レベルの 理解	
11	11月15日	<Excel>SUM、AVERAGE、MAX、MINを使用した表の作成	↓	
12	11月22日	<Excel>表のグラフ化、グラフ編集	↓	
13	11月29日	<Excel>計算式を組み込んだ見積書の作成	↓	

講師区分	常勤	講師名	鶴本　望	関係実務経験	企業向けのWindows操作講習会実施や 入社研修でのIT技術指導の経験

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
PCワーク	後期Ⅱ	22	27.5	アパレル造形科 デザイナーコース	2	D

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義10%　・　実習90%	なし

科目概要	Windowsパソコンの操作方法と、ビジネスソフト（Word・Excel・Powerpoint）の使い方を習得する。 基本的なタイピングからWordを使用した文章作成技術を習得。 Excelを使用した表やグラフの作成技術を習得。 Powerpointを使用してプレゼンデータを作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことを目指す。
習得項目	1.Windowsパソコンの基本操作やキーボードを使ったタイピング技術を身に付ける。 2.Wordによる基本的な文書作成を行えるようにする。 3.Excelを使用した表やグラフの作成、関数を使用した表の作成方法を身に付ける。 4.PowerPointを使用したプレゼンテーションデータを作成する。
評価方法	授業態度、課題提出、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント「課題評価」100ポイント「技術試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
14	12月6日	<Excel>応用関数① COUNTA関数、COUNTIF関数	Excel実務レベルの 理解	
15	12月13日	<Excel>応用関数② IF関数、AVERAGEIF・SUMIF関数	↓	
16	12月20日	<Excel>応用関数③ RANK関数、VLOOKUP関数	↓	
17	1月10日	検定試験演習	MOS試験問題の把握	
18	1月17日	テスト前Word、Excel総復習	後期内容の復習	
19	1月24日	期末テスト	↓	
20	1月31日	期末テスト返却、解説	後期内容、テストの 振り返り	
21	2月7日	ファッションショー期間		
21	2月14日	ファッションショー期間		
21	2月21日	ファッションショー期間		
21	2月28日	ファッションショー期間		

講師区分	常勤	講師名	鶴本　望	関係実務経験	企業向けのWindows操作講習会実施や 入社研修でのIT技術指導の経験

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
Mac演習Ⅱ	後期Ⅰ	24	30	アパレル造形科 デザイナーコース	2	D

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	演習50%・実技40%・講義10%	なし

科目概要	Macパソコンを使用したグラフィックソフトの更なる技術取得（Illustrator・Photoshop）
習得項目	デジタル基礎知識復習 Illustrator中級操作およびPhotoshop初～中級操作習得 各ソフトウェアの連動操作習得と周辺機器(プリンターなど)操作
評価方法	課題作成による知識と技術／期末テストによる基礎知識確認／授業態度／出欠状況をトータルして評価

授業計画

ステップ	(月/日)	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月1日	授業内容説明/Illustrator復習 (DMトレース・アレンジ)	1年次の復習	
	9月8日	バス遠足		
2	9月15日 ~9月22日	授業内容説明/Illustrator復習 (DMトレース・アレンジ)	1年次の復習	
3	9月29日 ~10月6日	Illustrator復習 (雑誌の表紙トレース・アレンジ)	1年次の復習	
4	10月13日	Photoshop (画像・ロゴ文字加工演習)	画像加工技術の取得	
	10月20日	運動会		
5	10月27日 ~11月17日	Illustrator・Photoshop (オリジナルエコバック作成)	ロゴマーク作成 アプリの連動	
6	11月24日	Illustrator・Photoshop (アーティストライブグッズ制作)	ロゴマーク作成 アプリの連動	

講師区分	常勤	講師名	大島 佐和子	関係実務経験	デザイン事務所にてグラフィックデザイナー経験後、美術学校にて講師経験もあり

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
Mac演習Ⅱ	後期Ⅱ	22	27.5	アパレル造形科 デザイナーコース	2	D

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	演習50%・実技40%・講義10%	なし

科目概要	Macパソコンを使用したグラフィックソフトの更なる技術取得（Illustrator・Photoshop）
習得項目	Illustrator中級操作およびPhotoshop初～中級操作習得 各ソフトウェアの連動操作習得と周辺機器(プリンターなど)操作
評価方法	課題作成による知識と技術／期末テストによる基礎知識確認／授業態度／出欠状況をトータルして評価

授業計画

ステップ	(月/日)	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月1日 ~12月15日	Illustrator・Photoshop （アーティストライブグッズ制作）	ロゴマーク作成 アプリの連動	
2	12月22日	Photoshop （画像加工演習）	画像加工技術の取得	
3	1月12日 ~1月19日	Illustrator・Photoshop （LookBook制作）	情報整理 アレンジ	
4	1月26日	期末テスト	後期まとめ	
	2月2日	Illustrator・Photoshop （LookBook制作）	情報整理 アレンジ	
	2月9日 ~2月16日	ファッションショー期間		
	3月1日	ファッションショー振替休日		

講師区分	常勤	講師名	大島 佐和子	関係実務経験	デザイン事務所にてグラフィックデザイナー経験後、美術学校にて講師経験もあり

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
卒業制作実習	後期Ⅱ	66	82.5	アパレル造形科 デザイナーコース	2	D

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技80%・講義20%	なし

科目概要	卒業作品制作をする。
習得項目	１.各アイテムの応用デザインの製図が出来る。 2.各アイテムの応用縫製力が身に付いて来る。 3.素材作りのアイディアに幅が出て来る。
評価方法	1.出席率 2.提出課題の成績 3.テストの成績

授業計画		（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	1	12月1日	卒業作品制作の全アイテム製図	完成度の高い作品作り	
	2	12月5日～8日	卒業作品制作の全アイテム製図		
	3	12月12日～15日	シーチング縫い・チェック		
	4	12月19日～22日	裁断・素材作り		
	5	1月10日～12日	本縫い		
	6	1月16日～19日	本縫い		
	7	1月23日～26日	本縫い		
	8	1月30日～2月２日	小物制作		

講師区分	常勤	講師名	リビ　裕子	関係実務経験	アパレル企業でパタンナー５年、 服飾系専門学校講師歴 継続して40年

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
SNSマーケティング	後期Ⅱ	22	27.5	アパレル造形科 デザイナーコース	2	D

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義50%実習50%	企業講師（株式会社レイワンダッシュ）

科目概要	SNSで会社やフリーランスでの仕事で必要な活用方法を学ぶ。 アカウントの開設から運用方法を学び、集客やブランディング方法、各SNSの特徴を理解する。 自分の作成したコンテンツをSNS上に披露する機会を作り、自身と相性の良いターゲット層や運用方法の理解を深める。
習得項目	・Instagram・Twitterの使い方を習得 ・撮影や動画編集、画像編集から文書作成を行えるようにする ・実際に投稿してアカウントの分析方法も学び、PDCAサイクルを自分で回せるようにする。
評価方法	授業態度、SNSの実績、各コンテンツの課題で評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月6日	オリエンテーション	各SNSの知識	
2	12月13日	TwitterとInstagramの基礎と応用□	開設から設定ができる	
3	12月20日	SNSブランディングと コンテンツ作りについて	方向性を決めれる	
4	1月10日	フォロワー獲得のプラン 設計と資料作り	プラン作成と実行が できる	
5	1月17日	プランと実績結果の発表	プラン作りと運用の 精度を高める″	
6	1月24日	ベンチマークと分析	実用的な運用方法と 分析力を高める	
7	1月31日	SNSの長期運用計画と実践□	実用的な運用方法と 分析力を高める	

講師区分	常勤	講師名	伏見　幸恵	関係実務経験	PR会社にてプレスを経験しアパレルにおける広報業務全般（プレス、スタイリスト業務、など）の経験があり。実務経験に基づいて専門知識習得、就職活動に活かした授業を展開する